

主体的・対話的で深い学びの実現に向けて

とっとりの授業改革【10の視点】+【10のICT活用】

知的好奇心の喚起

活用する力を育てる言語活動と学習評価

次につながる振り返り

①魅力的な課題・教材の提示

- ・自ら問いを見出し、調べてみたい、みんなで考えてみたい課題や教材を提示する
- ・学習への見通しを持たせる

A1

◎ICT活用

- <教員>
教材を電子黒板やプロジェクターで大きく映し、学級全員で同じイメージを共有する
- <児童生徒>
端末に画像や資料の一部を一斉配布して個々に気づいたことにマーキングさせたりして、自分の課題となるようにする

②体験的な学習の充実

- ・これまで学んだこととのつながりを意識させる
- ・地域の人・もの・ことなど日常とのつながりを意識させる
- ・具体物や視聴覚教材を使用する
- ・実験や作業を取り入れる

A1 C4

◎ICT活用

- <教員>
前時の板書や体験活動の様子を撮影しておき、それらを映して学習のつながりを振り返らせる
- <児童生徒>
体験的な学習（実験や作業）時に個々に撮影させ、その記録を使いながら、根拠をもとに次の課題を見出させたりする

③資料の活用

- ・問題解決に必要な資料を使って調べたり、考えたりする学習を設定する
- ・考えの形成のために情報を精査させる

B2 C2

◎ICT活用

- <教員>
2つのノートを撮影し、並べて大きく表示して、その差から考えるヒントを見つけさせる
- <児童生徒>
端末の画像を拡大して詳しく見させたり、実験結果の数値から規則性を見つけるために書き込みをさせたりする

⑤説明・発表の機会の充実

- ・考え方や理由を筋道立てて説明する学習活動を設定する

B2 C2

◎ICT活用

- <教員>
考えの根拠となる映像を提示しながら、それについての説明を文章として表現させる
- <児童生徒>
映像と短い説明の文字で数枚のスライドにまとめさせ、それをもとに自分の考えを発表させる

④思考の整理

- ・調べたことやわかったことをノートに書かせる
- ・問題の解き方や考え方をノートに書かせる

B3 B4

◎ICT活用

- <教員>
子どものまとめたものを複数撮影→提示して、多様な表現の工夫などを共有する
- <児童生徒>
考えの元になった画像やWebの資料などを貼り付け、自分なりのまとめをさせる

⑥学び合う活動の充実

- ・ねらいをはっきりさせ、新しい考えをみんなで生み出す活動を設定する
- ・考えを広げたり深めたりする活動を設定する
- ・意見交換や議論の場を設定する

C1 C2 C3 C4

◎ICT活用

- <教員>
ホワイトボードに映像を映し出し、そこに直接考えを書き込みして、クラス全体で議論させる
- <児童生徒>
付箋アプリを使ってデータを転送して、自他の考えを含めて自分の考えを再構築させる

指導と評価の一体化

⑦学習評価の推進

- ・一人ひとりの学習状況や実現状況を把握する
- ・個に応じた手立てや支援を行う

B1 B3 B5

◎ICT活用

- <教員>
補足の説明が必要な児童生徒だけを電子黒板の前に集めて、理解の度合いを確認しながら再度説明を聞かせる
- <児童生徒>
全体の学習の後半に、学習アプリを使い、個々のペースで理解を深める学習に取り組ませる（教師はクラウドに提出された課題について、授業後に個別にコメントを加えたり、評価する）

⑧学習を振り返る活動の設定

- ・「振り返り」の時間を設定し、達成感・成就感を味わせる
- ・次の学習の課題やポイントがつかめるよう工夫する

B1 B5

◎ICT活用

- <教員>
提示したポイントをもとに振り返らせたり、次時に関する資料を見せて、次の時間への見通しを持たせる
- <児童生徒>
ルーブリックを元に自己評価をさせることに合わせて本時の学びを文章で記述させ、クラウドに提出させる（蓄積した評価をもとに単元全体の振り返りとかに活用させる）

⑨家庭学習と連動した学びの定着

- ・学校で学んだことが家庭での復習や予習および自主的な学習につながるような支援に努める。

B5

◎ICT活用

- <教員>
次時の課題について提示したものと同じ画面を印刷し、家庭学習ではそれらに手書きで自分の考えを書かせる
- <児童生徒>
本時に関する課題や、次時につながる課題を端末に配布し、家庭でそれについて考えを書いて提出させる（その記述を元に次時は学習を展開する）

⑩落ち着いたのびのびと学べる環境づくり（学びの集団・人間関係づくり）

◎ICT活用

- <教員>
電子黒板やプロジェクターで投影した画像に書き込みをさせたりするときに、誰でも出て発言できるクラスの雰囲気は必要で、さらに正誤にとらわれず教師が個々の発言を価値づけることで、児童生徒が安心して自分の考えを表現できる学級の素地をつくる

<児童生徒>

- 個々の画面はパーソナルなものだが、一方で学習での記述は半パブリック的な要素もある。画面転送で教師端末から特定の児童生徒の画面を全体表示させたりすることの確認をしておくことと、それらは多様な考えの一つであり、それらを参考にしながらも、最終的には自分の考えを持つことの大切さといった授業のルールについて理解する

ICTを活用した10の授業形態

鳥取県教職員ICT活用指導力スキル表

	授業形態	活用スキル		活用ツール例
		A：応用	B：基本	
A1 (一斉学習)	<p>A1 教員による教材の提示</p>  <p>画像の拡大提示や書き込み、音声、動画などの活用</p>	<p>プロジェクターや電子黒板に映し出された写真や動画に補助線を加えるなどして分かりやすくするために工夫している。</p>	<p>プロジェクターや電子黒板を使って、端末の写真や放送番組の動画を拡大提示しながら説明している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクター ・電子黒板
B1 (個別学習)	<p>B1 個に応じる学習</p>  <p>一人一人の習熟の程度等に応じた学習</p>	<p>ドリル教材等を使って個別に取り組ませ、進め止まる学習者それぞれの手立てを個別に講じている。</p>	<p>ドリル教材等を使って個別の進捗に合わせて取り組ませている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・すらら ・eboard ・Qubena 等
B2 (個別学習)	<p>B2 調査活動</p>  <p>インターネットを用いた情報収集、写真や動画等による記録</p>	<p>Webを活用した情報収集や現地とのWeb会議でインタビューするなど、多様な調査活動を行うように指導している。</p>	<p>Webを活用して必要な情報を検索し、必要な写真や動画を集めるように指導している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・Google Meet ・ZOOM
B3 (個別学習)	<p>B3 思考を深める学習</p>  <p>シミュレーションなどのデジタル教材を用いた思考を深める学習</p>	<p>デジタル教材を活用させ、試行錯誤の時間を確保しつつ、得られた気づきを説明させる機会を確保している。</p>	<p>デジタル教材を活用させ、自分なりに理解しようとする時間を確保している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教科書 ・教科書会社の提供コンテンツ ・Webコンテンツ
B4 (個別学習)	<p>B4 表現・制作</p>  <p>マルチメディアを用いた資料、作品の制作</p>	<p>文字や映像を組み合わせてデジタルリーフレットなどの資料を作成させ、端末を使って提示せたりしている。</p>	<p>文字や写真を組み合わせてリーフレットなどの資料を作成させている。(印刷して掲示している)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ドキュメント ・Google スライド ・Google photo ・有料アプリ

	授業形態	活用スキル		活用ツール例
		A: 応用	B: 基本	
B5 (個別学習)	<p>B5 家庭学習</p>  <p>情報端末の持ち帰りによる家庭学習</p>	課題を提示し、家庭で調査活動を進めさせ、それらをもとに次の学習材料として活用する準備をさせている。	学習の理解を進めるための教材を準備し、学習の延長として家庭で情報端末を活用させて学習させている。	<ul style="list-style-type: none"> Google Classroom すらら 有料アプリ
C1 (協働学習)	<p>C1 発表や話し合い</p>  <p>グループや学級全体での発表・話し合い</p>	調べたことを拡大提示しながら説明したり、それについて質問させて、話し手・聞き手の対話の往復の機会を作っている。	調べたことやまとめたことを拡大提示させながら、説明する機会を作っている。	<ul style="list-style-type: none"> 電子黒板 プロジェクター Google ドキュメント Google スライド
C2 (協働学習)	<p>C2 協働での意見整理</p>  <p>複数の意見・考えを議論して整理</p>	情報端末に個々の意見を出させ、相互の共通点・相違点を明らかにして、建設的合意を作るように指導している。	情報端末に個々の意見を出させ、交流する機会を作っている。	<ul style="list-style-type: none"> Google Jamboard Google スライド Google Classroom
C3 (協働学習)	<p>C3 協働制作</p>  <p>グループでの分担、協働による作品の制作</p>	各自が調べたことを情報端末の機能を使って共有させ、集めた中から新しい気づきを見つけさせるように指導している。	各自が調べたことやまとめたことを情報端末の機能を使って共有するように指導している。	<ul style="list-style-type: none"> Google スライド Google Jamboard
C4 (協働学習)	<p>C4 学校の壁を越えた学習</p>  <p>遠隔地や海外の学校等との交流授業</p>	他校とオンラインで繋がりを、互いの考えを交流させる場面などを仕掛けていく。	外部講師とオンラインでつながり、授業にゲストティーチャーとして参加してもらっている。	<ul style="list-style-type: none"> 電子黒板 プロジェクター Google Meet ZOOM

※イラスト：「教育の情報化に関する手引 - 追補版 - (令和2年6月)」文部科学省より引用